

1月に入り、一段と気温が下がるかと思われましたが、意外と気温は下がらず、栃木県と比べ過ごしやすい天気が続いています。本科生の日本人の友人が言うには、このように過ごしやすい気温が続くのは珍しいとのことでした。さらに、雪が降る気配もなく、このまま2月には気温が上がっていくのではないかというような天気が続いています。

1月の中旬に控えた期末テストの前に、私たちは、気晴らしにと大学の近くにある西湖という湖に行ってきました。この西湖へはよく散歩がてら立ち寄ることが多いのですが、今回は普段立ち寄る場所とは反対の位置にあるところへと足を延ばしてみました。普段立ち寄る大学の近くの西湖では、風景を眺めたり、出店で中国らしい商品を買ってみたりすることが多いのですが、今回の場所には雷峰塔という歴史的建造物があり、普段とはまた違った西湖を味わうことができました。



左の2枚の写真がその雷峰塔の写真です。現地にあった案内板によると、この塔は、977年宋の時代に建てられたもので、仏教の開祖である釈迦牟尼の髪と遺骨が祭られているそうです。1924年に1度崩れ、2002年に政府によって今の形に復元されたそうです。

塔の中には、かつての復元前の塔の一部が残っており、それも観賞することができました。その部分は、日本のお賽銭箱のように扱われており、観光に来た人はそこにお金を投げ入れ、お願い事をしていました。

さらにこの塔には、日本でも有名となった中国の4大民間伝説の1つである『白蛇伝』の物語とも関係しており、風景、歴史だけではなく、物語を楽しむこともできます。物語の内容は、簡単にいうと、美女に化けた白蛇と人間の男の恋の物語です。

話は変わり、この時期の中国にはとても大きなイベントがあります。そう、春節です。これは、日本で言うところの旧正月に当たります。毎年その日付は変わってくるのですが、例年では2月中に春節になることが多かったのですが、今回は1月28日からとなり、とても早い春節となりました。この頃になると、春節を家族と一緒に過ごすため、実家へと帰省する人たちが見受けられます。この時に帰らないということは、親不孝と言われることもある程重要な行事だそうです。多くの人が学校や仕事で都市の方へ出てきているため、近くのお店などもほとんどの閉まってしまいます。そのため、春節に関係のない留学生は、暇を持て余してしまい、春節の前に国へ帰る人も多くいます。そうすると残った私たちはさらに退屈

になってしまうため、交流員の皆で集まりご飯を作ったり、大学近くの山や西湖などの自然に触れ合うような時間を過ごしました。さらに、折角春節の時期に中国にいたので、中国らしく過ごしてみようと交流員の皆で話し、旧暦の大晦日の夕飯に餃子を作って交流員のメンバーで小さなパーティーをしました。部屋のドアにも中国らしい飾りつけを施し、雰囲気を出し、楽しく春節を過ごすことができました。因みにこの写真がその飾りの様子です。中



国では、こうした飾りの他にも提灯のような丸い飾りを家の前やお店、道路わきなどに多く飾っています。そのほとんど全てが赤と金色で作られており、とても綺麗な景色を見ることができます。

春節の時、中国では鴨、豚、鶏等を食べる事が主流であるらしく、春節時期になるとスーパーには燻製されたそれらがそのまま売られています。家によっては、自分の家で育てるところから始める家庭もあり、家の周りで鶏を放し飼いにして育てているところもありました。売られている状態の見た目は人によっては衝撃的なものになるので、春節の時期の中国観光はお気を付けてください。

最後に、中国ではクリスマスや年越しなど、多くの国では盛大に祝うような行事があまり重要視されておらず、以前紹介しました国慶節や今回の春節など、中国ならではの行事に対する思い入れが強いように感じました。こうした年間の行事から見ても、中国はとても不思議な国であると改めて感じました。来月が交流員としての最後の月になるので、もっと多くの「中国」に触れたいと思います。